

高知市子ども・子育て支援事業計画・重点施策の今後の取組方針に対する評価とご意見等（要約版）
（高知市子ども・子育て支援会議委員による評価）

重点施策	評価 (平均)	主なご意見等
①健やかな子どもの誕生への支援	3.9	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時の面接が全実施されていないという事に対し、引き続きの課題としてよろしく願いいたします。 母子手帳交付時の対応について、母子保健課以外で交付した人に対して（面接の出来ない人）、後追いで面接をする。又は、保健師を増員して交付時の面接を重視されたい。
②より質の高い教育・保育の推進	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 職員が研修を受けやすいよう、方法や内容についての見直しや検討を今後も続けていくこと。 園経営の責任者として園長の責務は大きいと考えます。人材育成や組織の改善など経営的資質の能力を身に付けていくためにも園長研修には公立の園長だけでなく民営の園長も参加できるしくみを望みます。 保・幼・小・中の更なる連携を図る。
③地域ぐるみの見守り・子育て支援体制の充実	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信について、ホームページやフェイスブックの改善とともに、保育園、幼稚園からの情報発信の量や質が統一されるよう、ホームページやフェイスブックへの誘導、協力をしてもらってはどうか。 北部地区での子育て支援センターの開設に努めてほしい。
④児童虐待の発生予防	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 「子育て家庭が孤立しない」ということは重要であり、相談窓口が多いに越したことはありません。相談支援体制の整備を進めて、要保護児童等の早期発見、早期対応、継続支援の充実を求めます。 切れ目のない支援の充実への課題の強化をお願いします。自ら支援を切りたいと行動している家族が気になっています。 児童虐待予防は最終的には地域全体で子育てを支援する体制が求められる。そのためには保育園と民生委員児童委員等が連駆をして、地域ぐるみネットワークの様々な物をつくってほしい。
⑤障害児支援の充実	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 障害について専門的な知識及び技術について、広く一般市民の方が理解することも大事と思います。多くの方が理解することで日常的に支援ができる状況が育まれるのではないのでしょうか。多様な場で多様なかわりが生まれていくことになり、手厚い支援ができると思います。 特に発達障害と思われる子どもについて一番難しいのは保護者へどう伝え、専門機関への診断にもっていかという点である。子育て相談支援員がその席で適切なアドバイスを行えるよう取り組んでいただきたい。 発達障害と診断された子ども・家庭が社会とつながる時、それを受け止める社会の方が成熟していない。教育現場では子ども同士の関わりの中で、培われるものが期待されるが、社会一般には、発達障害を持つ人との関わり方などが知らされておらず、困惑しているのが現状であろう。可能な限り、行政が講演会などを開催し、障がい者理解が、徐々にでも進んでいくよう、望みます。